

記念式典

岡山県支部がスタート

中四国で初 日本技術士会中国本部

(公社) 日本技術士会中国本部岡山県支部(木口誠二支部長)の支部設立記念

ある支部活動に大きな期待を寄せた。

式典が27日、岡山市北区のホテルグランヴィア岡山

式典では、はじめに同中国本部の大田一夫本部長

で盛大に開催された。来賓

が式辞。中国本部の傘下に

として逢沢一郎衆議院議

員らが出席。地域に密着し

た多様な技術支援や社会

会員サービスの格差解消

貢献活動など今後の魅力

といった県支部設置の意

義などについてふ

れたあと、「中国本部として、岡山

県支部を全面的に

支援していく。任意団体の岡山県技

術士会を解散し、

公益社団法人にな

って本心に良かった

と実感できるよ

うな成功体験をして

もらい、これを通

式辞を述べる大田本部長



て他の県にも働き

かけ、理解をいただいた上

で、機が熟した県から順

次、県支部設立を果たして

いきたいと考えている」と

述べた。

その後、来賓出席した逢

沢議員、斉藤鉄夫衆議院議

員(代理)、中国四国農政局

の田野井雅彦局長、岡山県

市の山崎康司都市整備局長がそれぞれ祝辞。その中で逢沢議員は「充実した議論を重ねてもらい、支部と

して活動を活性化させ、新しいフロンティアを切り拓いてほしい」と地域の発展に結びつく支部活動を要請した。

これを受け、記念式典実行委員長を務める木口支部長は謝辞で「岡山県支部の前身である岡山県技術士会が、8月10日に50年にわたる歴史に幕を閉じる」とした上で「そして、新しくスタートする岡山県支部の設立記念式典を盛大に開催することができ、会員にとっては身の引き締まる思いだ。今後は公益社団法人の組織の一員として地域社会の発展に貢献し、社会から認知され、信頼される存在となるよう取り組んでいく」と意気込みを述べた。

当日は、このほかに岡山県支部年次大会や岡山大学大学院の西垣誠教授による「科学技術は人を助けるもの」を演題とした記念講演会なども催された。



謝辞を述べる木口支部長